# 第３回九州大学大学院経済学府産業マネジメント専攻
# 教育課程連携協議会開催概要

日時：令和３年４月３日（土）
開会：午前１０時００分
閉会：午前１２時３０分
場所：イースト２号館２階　E-E-２１２

（出席者）
会　　長：荻野 喜弘
構 成 員：麻生 渡、五島 久、小早川 明徳、榊原 清則、平井 彰、古田 茂美
　　岩田 健治、髙田 仁（専攻長）、永田 晃也、星野 裕志、目代 武史
学 府 長：大石 桂一
教　　授：五十嵐 伸吾、小城 武彦、鈴木 右文、村藤 功
准 教 授：中本 龍一、ハズウェル.C、広垣 光紀、松永 正樹
講　　師：平野 琢
助　　教：荒木 敬充、三上 聡美

（五十音順、敬称略）

協議会次第

１．開　会
２．委員及び出席者紹介
３．学府長挨拶
４．会長挨拶
５．議　事
　（１）運営経過報告
　（２）質疑応答と委員の意見
６．会長総括
７．閉　会

令和３年度　意見交換の概要

１．社会や企業の変革に資する教育の充実について

・DX、AI、仮想経済、スマートシティ、宇宙、データサイエンス等の教育への取り込みが必要

・カーボンニュートラルやSDGs、ESG投資などの変革に対する教育面から対応すべき

・国家、人間、哲学、モラル、倫理等に関する教育、人格教育が重要

・産業構造・雇用構造の変化に対応するリカレント教育の仕組みと対外発信を積極的に実施すべき

２．教育内容／方法の継続的な改善について

・プロジェクト論文指導のあり方の点検が必要（含FDアンケートの活用）

・プロジェクト論文によるケース教材の蓄積が可能では？

・オンライン教育の効果的な活用が必要

３．教育の国際化と多様性の確保について

・留学生や女性比率の向上が必要

・海外先進事例を学ぶ研修やミッション団への参加が考えられる

・（英語による）日本的経営哲学に関する学びの機会を増やしては？